

認知症地域支援推進員だより～第4号～

発行 令和4年3月 発行者 添田・西本



きびしい寒気の中で、梅のつぼみがほころび始め、早春の息吹が感じられる頃となりました。みなさんいかがお過ごしでしょうか。2022年は寅年ということで、トラのように果敢にトライ！したい推進員からホットな情報をお届けしたいと思います。

伊佐市内の大手企業で初めての認知症サポーター養成講座を開催！！

伊佐市内にある大口電子株式会社にてコロナ感染予防策として社内 Web 会議を用いて従業員 212 名を対象に認知症サポーター養成講座を計4回開催しました。

大口電子は昭和 56 年に設立されスマートフォン等の通信機器の基板・結晶材料や自動車、建築物の窓材に使われる遮蔽インク材料など、私たちの暮らしを豊かにする技術を多く取り扱っている会社です。総勢500人程の職員の中で、平均年齢が45歳であることから、「親の介護」を迎える方が多くを占めています。仕事と家庭の両立の中で介護負担はストレス要因の一つとなっているのか、認知症や介護に関する関心の高さが伺えました。

今回の講座では、認知症についての基礎知識のほか、介護認定の申請の流れや成年後見制度についてもお話ししました。

特に認知症を紹介するドラマ「バアちゃんの世界」は認知症の発症を機に家族関係がぎくしゃくし、あれこれ対応を模索する家族のリアルな姿が描かれており、認知症になっ

ても「変わらないこと、大切なこと」に気づかされる作品に、視聴した多くの方が印象深く残った様子でした。

今回の講座をきっかけに、認知症についての理解が深まり、認知症の本人もそのご家族も地域で安心して暮らし続けられる社会になればと思います。



大口地域包括支援センター ☎ 23-2377
菱刈地域包括支援センター ☎ 26-1307

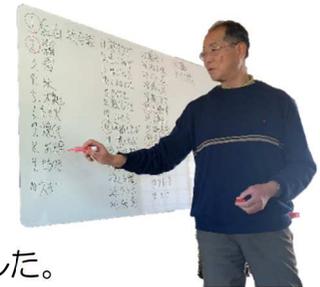


1/6 (木) **伊佐のカフェおれん家 in 金波田**で今年初の認知症カフェが開催されました。



新年の始まりということで、、
「冬(年末年始)といえば！」をお題に思いつくワードをあげ、そのワードをもとにビンゴゲームが行われました。参加者それぞれ、冬にちなんだ行事や景色を連想し大いに盛り上がりました。

また童謡や大正・昭和時代の歌を一緒に歌い、歌詞の由来や歌われていた時代背景をきき「この曲は知ってる！懐かしいなあ」と感想が聞かれました。



おいしいお菓子とお茶の休憩を挟みながら、和やかな雰囲気のもと開催されたカフェの様子でした。コロナ禍ではありますが、

感染対策をとりながら、多くの方の参加をお待ちしております(^^)/

